

基 調 講 演



テーマ：社会基盤構造物の維持管理における課題と要素技術

講 師：広島大学大学院 工学研究院 教授 藤井 堅

略 歴

昭和 50 年 3 月 広島大学工学部土木工学科卒業
昭和 52 年 3 月 広島大学大学院工学研究科土木工学専攻修了
昭和 52 年 4 月 川田工業（株）技術本部研究室
昭和 54 年 4 月 広島大学 助手（工学部）
平成 21 年 4 月 広島大学大学院 教授

研究活動(専門)

鋼構造物の座屈耐荷力
複合構造物の耐荷力，複合化技術
鋼構造物の維持管理

講演概要等

現在，経年した社会基盤構造物の高齢化，老朽化が大きな社会問題となっている。一方，我が国の経済状況には，明るい兆しは依然として見えない状況にあり，従来のような安易な廃棄・更新はもはや難しい状態となってきた。このような背景から，社会基盤構造物の長寿命化が要求されるようになり，そのために維持管理の重要性が強く意識されるようになった。厳しい経済状況に鑑み，ライフサイクルを通じたコストミニマム化予算の平準化などを目指してアセットマネジメントが精力的に進められているが，莫大な社会資本が蓄積されているにも関わらず，ビジネスとしてはまだ成立していないようである。本講演では，鋼構造物を対象として，点検，評価・判断，対策，予測，将来計画といった一連の維持管理フローにおいて，維持管理のあり方，現状および将来的に解決すべき課題，解決のための計測技術，解析技術などについて述べる。とくに，現在の維持管理フローにおいては「損傷」を対象としており，構造物の安全性などの要求性能に直接関係しないことをふまえて，安全性の面から維持管理を考察する。

なお，講演題目は「社会基盤構造物」としてしまいましたが，講演者の専門である「鋼構造物」に限定してお話することについて何卒ご容赦ください。